



国民春闘共闘

2026 年度 第 23 号
2026 年 7 月 23 日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

26 国民春闘共闘 第 8 回賃上げ集計（最終：7 月 2 日）

加重平均 12,386 円・3.81%
12,000 円超え 1993 年以来 33 年振り

<回答状況>

	2026 年	2025 年同期
回答引き出し組合	1064	1256
うち 有額回答	714(67.1%)	857(68.2%)
うち 「定昇確保」など言葉による回答	350(32.9%)	399(31.8%)
うち 2 次回答以上の回答	201(18.9%)	166(13.2%)
うち 妥結組合	573(53.9%)	690(54.9%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		26 年要求	26 年回答	25 年同期	同期比
単純平均	額(円)	31,367	9,986	9,280	+706
	率(%)	10.00	3.61	3.31	+0.30
加重平均	額(円)		12,386	8,468	+3,918
	率(%)		3.81	2.85	+0.96
	組合員数		84,082	98,959	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	26 年回答	25 年実績	実績比
単純平均	額(円)	588	373(63.4%)	312(53.1%)	9,854	8,679	+1,175
	率(%)	314	169(53.8%)	153(48.7%)	3.62	3.51	+0.11

<非正規の仲間の回答状況>

	26 年回答		25 年同期		同期比	
	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
時給制	53.1	5.30	46.1	4.63	+7	+0.67
月給制	6,617	3.15	5,724	2.79	+893	+0.36
再雇用・時給	49.5	4.02	47.0	4.33	+2.5	-0.31
再雇用・月給	8,133	4.08	7,812	4.31	+321	-0.23

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引き出し・妥結状況

26 春闘最終となる 7 月 2 日の第 8 回賃上げ集計は、31 単産・部会での集計となりました（前年最終 2025 年 7 月 3 日：27 単産・部会）。回答引出し組合は、2416 組合の 44.0%にあたる 1064 組合で、前年最終集計の 1256 組合（54.1%）を 10.1 ㊦下回りました。

回答引出し組合のうち金額もしくは率が明らかとなっている有額回答を得たのは 714 組合（67.1%）で、前年最終集計 857 組合（68.2%）を 1.1 ㊦上回っています。

回答引出し組合のうち、2 次回答以上の上積みを獲得した組合は、201 組合（18.9%）で、前年最終集計の 166 組合（13.2%）と比べ、35 組合・5.7 ㊦多くなっています。最高次数は日本医労連・医療 4 組合、JMITU3 組合、民放労連 1 組合の計 8 組合での 5 次回答となっており、続いて 4 次回答 13 組合（JMITU：7、全倉運、映演労連：各 2、全労連・全国一般のサービス、日本医労連・医療：各 1）、3 次回答 44 組合（JMITU：15、日本医労連・医療：12、全倉運、全印総連：各 3、化学一般労連、生協労連の卸売・小売、民放労連：各 2、建交労・運輸、全労連・全国一般の卸売・小売、出版労連、映演労連、建交労・サービス：各 1）、2 次回答 136 組合となっています。

上積み獲得組合数を単産部会別に見ると、日本医労連・医療 57 組合（前年最終集計 21 組合）、JMITU37 組合（同 43）、化学一般労連 14 組合（同 19）、建交労・運輸 13 組合（同 15）、全倉運 10 組合（同 19）、生協労連の卸売・小売 9 組合（同 12）、民放労連 9 組合（同 10）、日本医労連・福祉 9 組合（同 1）、全印総連 8 組合（同 5）、出版労連 6 組合（同 4）、生協労連・福祉 5 組合（同 2）、映演労連 4 組合（同 3）、全農協労連 3 組合（同 2）、郵政ユニオン 3 組合（同 0）、福祉保育労 3 組合（同 5）、建交労・サービス 3 組合（同 4）、全労連・全国一般の製造 2 組合（同 0）、建設関連労連 1 組合（同 1）、建交労・製造 1 組合（同 0）、生協労連・運輸 1 組合（同 0）、全労連・全国一般の卸売・小売 1 組合（同 0）、建交労・社会福祉 1 組合（同 0）、全労連・全国一般のサービス 1 組合（同 0）となっています。

妥結・収拾方向となっているのは、573 組合で、妥結率は 53.9%です。前年最終集計の 690 組合（54.9%）を 1 ㊦下回りました。

回答内容

26 春闘での要求水準は、単純平均（一組合あたりの平均）で 31,367 円・10%となりました。医療で 44,794 円・16.60%、社会福祉・介護で 32,592 円・13.38%とケア職場で高い要求水準となりました。

有額回答が示された組合のうち、回答金額が明らかとなっている 695 組合での単純平均額（一組合あたりの平均）は 9,986 円となりました。引き上げ率は 384 組合の単純平均で 3.61%となっています。第 1 回集計（3 月 12 日：8,646 円・3.14%）から 1,340 円・0.47 ㊦上昇しました。前年最終集計（2025 年 7 月 3 日：9,280 円・3.31%）を 706 円・0.3 ㊦上回りました。

加重平均（組合員一人あたりの平均）は 12,386 円・3.81%となりました。第 1 回集計（8,106 円・2.74%）から 4,280 円・1.07 ㊦上昇しました。前年最終集計（8,468 円・2.85%）を 3,918 円・0.96 ㊦上回りました。加重平均額で 12,000 円を超えたのは 1993 年以来 33 年振りとなります。また、引上げ率では 32 年前の 1994 年（3.82%）に並ぶ水準となりました。

前年実績と金額で比較可能な 588 組合での単純平均額を見ると、今期は 9,854 円で前年実績 8,679 円を 1,175 円上回っています。引上げ率では 314 組合の単純平均で 3.62%と前年実績比 0.11 ㊦増となりました。金額で見ると 63.4%にあたる 373 組合が前年実績以上の回答を引き出しています。前年実績を超える回答を引き出したのは金額で 312 組合 (53.1%)、引上げ率では 153 組合 (48.7%) でした。

2 万円以上の回答を引き出したのは、42 組合 (日本医労連・医療 : 12、全倉運 : 7、JMITU : 6、全農協労連、建交労・社会福祉、福祉保育労 : 各 3、全労連・全国一般の製造、生協労連の卸売・小売 : 各 2、建交労・運輸、出版労連、日本医労連・福祉、建交労・サービス : 各 1) となりました。これらを合わせて、回答金額が判明している 695 組合の 47.5%にあたる 330 組合が 1 万円以上の 5 桁回答となっています (前年同期 / 2 万円以上 52 組合、1 万円以上 324 組合)。

26 春闘前半戦では製造、卸売・小売などが高水準の回答で全体を牽引し、後半戦を中心に回答引出しが行われた農林水産、鉱業・建設、運輸・通信などでも高い水準の回答が引き出されました。そして、前半戦で苦戦を強いられたケア職場では、6 月の報酬改定に向けて粘り強い交渉で上積みが図られました。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、別表の 15 単産 232 組合から 474 件の獲得報告となりました。

このうち、時給制労働者では 282 件の獲得報告となっています。引上げ額が判明している 229 件での単純平均は 53.1 円となりました。引上げ率は 49 件平均 5.30%です。前年最終集計 (2025 年 7 月 3 日 : 46.1 円・4.63%) を 7 円・0.67 ㊦上回りました。日本医労連の組合で 180 円、福祉保育労の組合で 150 円、JMITU の組合で 140 円、生協労連の組合で 101 円など、74 組合が月額換算 (月 150 時間換算) で 1 万円を超える回答を引き出しました (前年最終集計 38 組合)。

月給制労働者では 103 件の獲得で、引上げ額は 91 件平均 6,617 円、引上げ率では 36 件平均 3.15%となりました。前年最終集計 5,724 円 (85 件平均)・2.79% (34 件平均) を 893 円・0.36 ㊦上回りました。福祉保育労の組合で 26,600 円、生協労連の組合で 23,892 円、全労連・全国一般の組合で 16,800 円、映演労連の組合で 15,000 円などの高額回答を引き出しています。

再雇用・継続雇用者の賃上げ状況は、時給制は 37 件の獲得で、引上げ額は 35 件平均 49.5 円、引上げ率は 12 件平均 4.02%となりました。前年最終集計の 47.0 円 (38 件平均) を 2.5 円上回りました。

月給制では 44 件の獲得で、引上げ額が 36 件平均 8,133 円、引上げ率は 12 件平均 4.08%です。前年最終集計の 7,812 円 (45 件平均) を 321 円上回っています。化学一般労連の組合で長く据え置かれていた再雇用者の賃金を月額 5 万円引上げ、出版労連の組合で 19,270 円、JMITU で 16,000 円、生協労連の組合で 14,430 円、映演労連の組合で 12,500 円などの回答を引き出しました。

企業内最低賃金協定の改定状況

企業内最低賃金協定の改定状況は、別表の 8 単産 74 組合からの報告となりました。

時間額では 67 件を獲得し、新協定の単純平均額は 1,187 円（63 件）で、引上げ額は報告のあった 36 件平均で 63.8 円、引上げ率は 35 件平均で 5.95%となっています。

日額改定は 18 件の獲得となり、新協定額は 15 件平均 9,811 円、引上げ額・率は 7 件平均で 518 円・5.55%です。

月額では 24 件の獲得で、新協定額が 21 件平均 189,900 円、引上げ額・率は 9 件平均で 6,763 円、3.84%となっています。

職種別では、日本医労連から看護師、ヘルパーの獲得報告が寄せられています。看護師での新協定は時間額 1,491 円（9 件平均）、日額 10,907 円（6 件平均）、月額 215,494 円（10 件平均）です。ヘルパーは 1 組合からの報告で時間額 1,130 円、日額 9,230 円、月額 171,700 円となっています。

日本医労連の組合で月額 14,800 円、日額 688 円、時間額 76 円の引き上げ、出版労連の組合で月額 12,100 円、日額 605 円の引き上げ、生協労連の組合で時間額 160 円の引き上げなどを勝ち取っています。

進ちょく状況調査

第 8 回賃上げ集計に合わせて、要求提出状況、ストライキ権の確立・実施状況などについて調査する第 4 回進ちょく状況調査（最終）を行い、別表の 19 単産から報告が寄せられました。

調査組合（交渉単位）2359 組合のうち、要求提出が確認できているのは 63.4%となる 1496 組合です。前年最終集計（2025 年 7 月 3 日：1560 組合・63.2%）を 0.2 ㊦上回りました。

要求提出組合のうち 1111 組合・74.3%が回答を引き出し、603 組合・40.3%が妥結・收拾方向となっています。前年最終集計（回答引出し：1296・83.1%、妥結・收拾：752・48.2%）と比べ回答引出し率、妥結率ともに下がっています。

ストライキ権は 1169 組合での確立が確認できており、調査中の金融労連を除く 2318 組合に対して 50.4%となっています。前年最終集計（1274 組合・51.6%）と比べ 1.2 ㊦減少しています。

26 春闘回答集中日翌日 3 月 12 日の全国統一行動や 4 月 9 日の第 2 波全国統一行動日を中心に 206 組合がのべ 252 回のストライキを配置し、そのうち 152 組合がのべ 191 回のストライキに立ち上がりました。日本医労連の全国組合を行動単位で算出すると 189 組合でのべ 228 回のストライキ決起となりました。